ある町の天気相談所

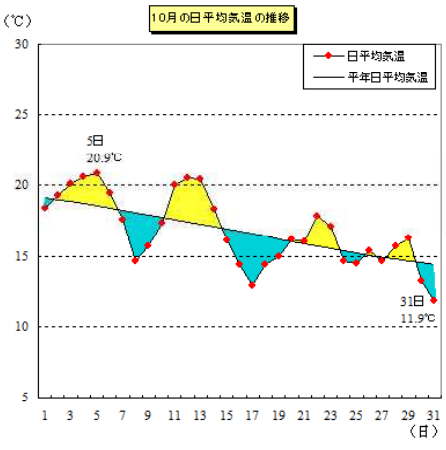
Vol.35
2020.11. 6
令和２年11月号

虹(10月12日)

11日から12日にかけて海からの湿った空気が入り、弱い雨が降る時がありましたが、太陽も出て、頻繁に虹が観察されました。

10月の気候

10月の月平均気温は16・8℃と、平年並の気温となりました。寒暖の差が大きくなるときもありましたが、平均すると、最高気温、最低気温とも平年並みの気温でした。前線が停滞し、中旬頃は、雨や曇りの日も多くなり、月合計日照時間は１３２・９時間と平年の88％と少なく、台風などの直接の影響がなかったため、降水量も１２５・０ミリと、平年の72％にとどまりました。



1カ月予報（気象庁発表）

11月は、平年と同様に晴れの日が多く、２週目以降は暖かい空気に覆われるため、気温は「平年より高い」見込みで、降水量、日照時間は「ほぼ平年並み」の見込みです。

天気相談所のあゆみ

講演会・出前講座１

天気相談所では、気象の知識を広く知ってもらうために、講演会や、出前講座なども開催してきました。

気象の講演会として最初に行われたのは、１９５２年（昭和27年）です。これは、天気相談所が開設された年です。11月２日から４日にかけて、記念図書館を会場に第１回の気象展を開催し、その中で講演と映画の会が開催されました。詳細な資料は残っていないのですが、気象台からも、高層観測用の機器を借り受けるなど、普段目にすることがない、気象をはかる機械を展示したりしていたようです。

翌年には「第１回日立地区気象通報連絡会」さらに翌年の１９５４年(昭和29年)には「第１回学校気象観測指導者講習会」を開催し、当時は、数字で送られてきた各地の気象状況を翻訳するための講習会や、学校で観測を行う方法を指導するなど、当時必要としていた、気象の知識の普及を積極的に行っていたようです。

天気用語の基礎知識

風の強さと気圧の傾き

風は気圧の高い方から低い方へと吹きます。気圧の差が大きい（気圧の傾きが大きい）ほど、風は強まり、差が小さいと弱い風になります。地上天気図では、気圧の傾きが大きい時は、等圧線が混み合って表現されています。台風の周辺や、冬型の気圧配置の時などには、等圧線が混み合うところが多く現れ、その場所では風が強まっていることが予想されます。

……神峰の山から……

先月も記載した気象庁内にある本屋さんですが、気象の専門書は豊富にあったため、就職してからも、気象庁の近くに行ったときは、必ず寄っていました。特に、気象庁が作成した最新の予報技術などの気象庁職員向けの研修資料は、当時、内容を確認できるところは、この本屋さんくらいしかなく、最新の本だけでなく、少し前の本についても、内容を確認し、購入したりしていました。また、気象庁のマスコット「はれるん」のグッズや、天気記号が書いてあるトランプなども置いてあり、見ているだけでも楽しいところでした。

天気相談所においてある参考書も新しい物がたくさん増えました。